



議会中継、
会議録検索は
こちらから

一般質問とは、市が執り行う行政事務全般について、議員が質問を行うもので、本定例会では20人の議員が登壇しました。ここでは発言順に質問項目のみを掲載していますので、詳細につきましては富士市ウェブサイトの本会議の議会中継(録画放送)や2月末頃に発行予定の会議録を御覧ください。会議録は富士市議会ウェブサイト、図書館で御覧になれます。

Table with 3 columns: Member Name, Question Title, and Content. Includes members like 望月 徹, 関 明美, 下田 良秀, etc.

新病院建設特別委員会

8月29日「新病院の建設について」を議題として開催

●今後、中央病院が3次救急医療も担う場合、2次救急医療の提供体制への影響は

問 中央病院は令和5年度に4098件もの救急搬送を受け入れており、富士保健医療圏の2次救急医療における負担が集中している状況にあると考えますが、もし3次救急医療を担うことになれば、2次救急医療の提供がおろそかになるのではないですか。

答 現在の中央病院では、重度の熱傷や高エネルギー外傷など、救急対応が困難な疾患があり、第3次救急医療機関となるために全ての疾患への対応を図るとすれば、2次救急医療の提供への影響が懸念されますので、まずは2次救急医療提供体制の強化を進めていきます。

●3次救急医療に対応した施設の整備について

問 新病院では将来的に3次救急医療の提供が可能な施設を整備したいとのことですが、2次救急医療までの場合より相当の費用の増加が見込まれると思いますがいかがですか。

答 確かに3次救急医療に対応した設備等の整備にはかなりの費用がかかります。ただし、想定している施設等のうち、救急外来の診察室増設や高度な機器を備えたハイケアユニットの設置は、2次救急医療においても十分に活用可能です。一方で、3次救急医療に欠かせない心臓血管外科の緊急手術には、様々な機能を備えたハイブリッド手術室や多くのスタッフが必要となるため、これは、国の動向を注視しながら慎重に議論する必要があります。

新病院建設特別委員会による先進都市行政視察

三豊市立みとよ市民病院 8/6

香川県三豊市



三豊市立みとよ市民病院では、老朽化や耐震性の問題から建て替えが求められていましたが、建設費や病院経営の不透明さから決断できずにいました。そこで、城西大学の伊関教授のアドバイスを受け、建設費抑制の視点から病床数の縮減、療養環境向上の視点から全室個室化するなど、様々な改善を行い、建て替えを実施、令和4年に開院しました。

新型コロナウイルスの蔓延により、自治体病院は様々な感染症対策が求められましたが、病院の建て替えはハード面の対策として効果的と考えます。

また、今回の全室個室化や職員のアメニティスペースの確保の取組は、患者の療養環境向上や職員の勤務環境の改善により、質の高い医療サービスが提供できるようになると考えます。

和泉市立総合医療センター 8/7

大阪府和泉市



和泉市立総合医療センターでは、医師不足、老朽化、経営赤字などの課題に対し、市直営のままでは解決困難と考え、平成26年度から民間手法を活用した指定管理者による運営としました。

また、病院スタッフの確保も指定管理者が行い、常勤医師数は移行後の54人から令和6年には140人にまで増加しています。さらに、新病院建設費用は指定管理者が負担することになった上、赤字だった病院経営も令和2年度以降は20億円以上の黒字となるなど、指定管理者制度への方針転換が成功した好事例だと言えます。

中央病院の建て替えに向け、本特別委員会としても他自治体の好事例等を参考に、今後も議論を深めていきたいと思います。